



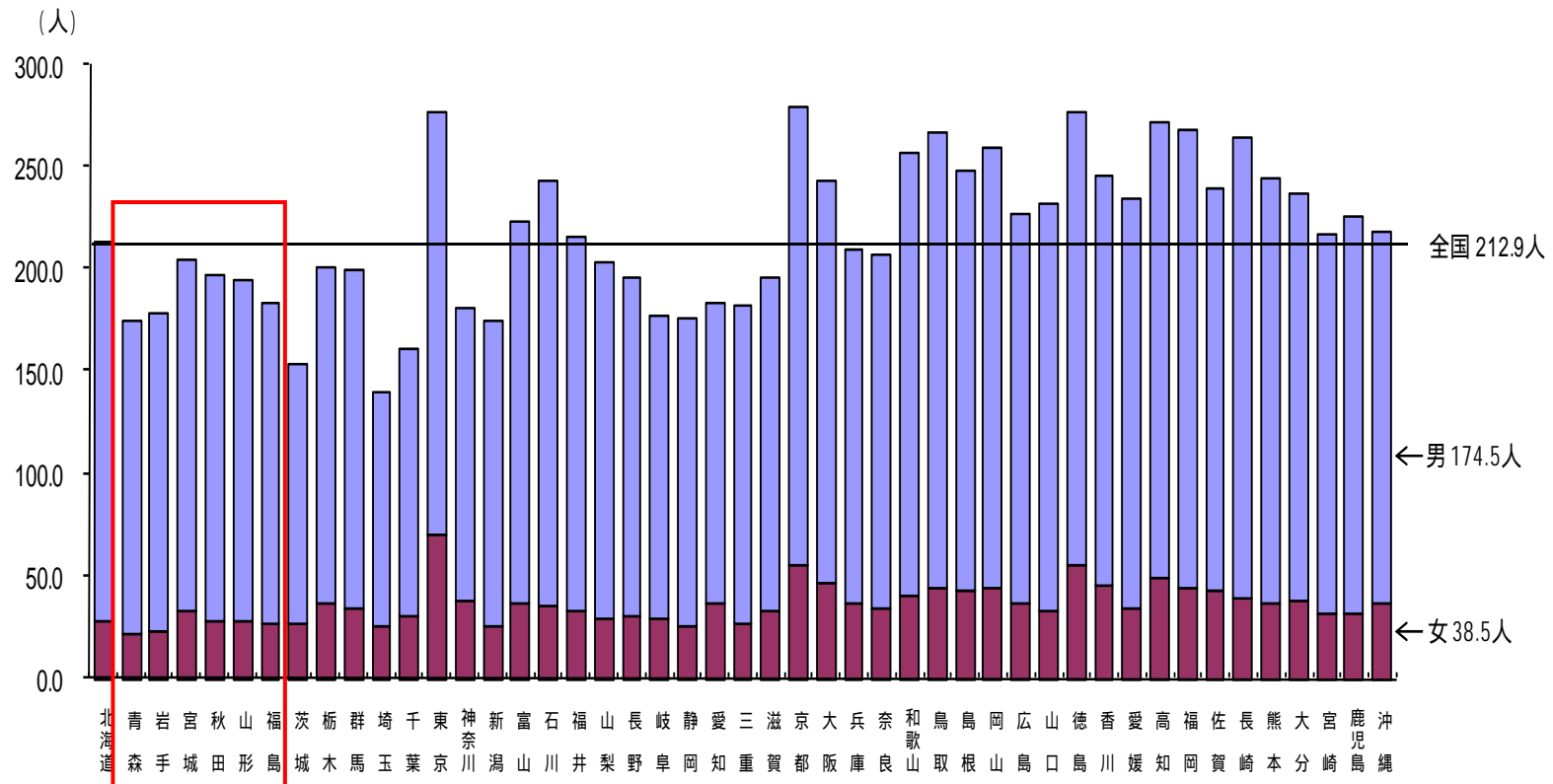
東北大学医学部医学科の定員増計画

東北大学医学部医学科の定員を10年間の時限をつけて20名増員し、今後再建する病院など被災した地域の医療現場で働く医師を養成・確保する

- 東北地方には老年人口が50%以上の地域が多い
そもそも東北地方の医療ニーズは全国平均よりも高い
- 東北地方の人口当たりの医師数は全国平均よりも少ない
東北地方の多くの病院で医師不足の現状
東北の多くの病院が医学部定員増を望んでいる
- 東日本大震災が東北の医師不足に拍車をかけている
- 東北地方の医学部定員は少ない
全国平均から行くと定員で20人不足(平成23年度)
- 東北大学医学部入学者の中で東北地方出身者は3割、一方、東北大学医学部卒業生の中で東北地方に定着するのが7割。
東北地方への定着率は高い



人口当たりの医師数は 東北地方で全国平均よりかなり低い



人口10万対医師数 (厚生労働省発表 平成20年12月31日現在)



東北地方の人口当たりの医学部定員も少ない

平成23年度の

総人口

128,056千人

東北地方の人口

10,773千人 (8.4%)

総務省統計局のデータより

平成23年度の

医学部定員総数

8,923人

人口からみた東北地方定員

750人 (8,923 x 0.084)

平成23年度の

東北地方の医学部定員

730人

不足分 750 730 =

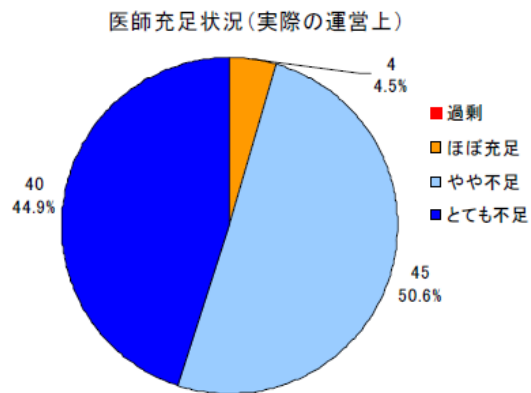
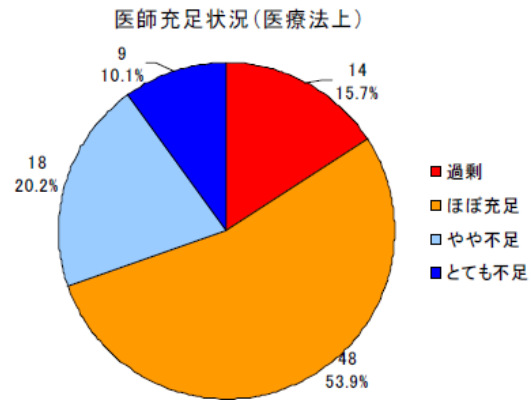
20人

文部科学省のデータより

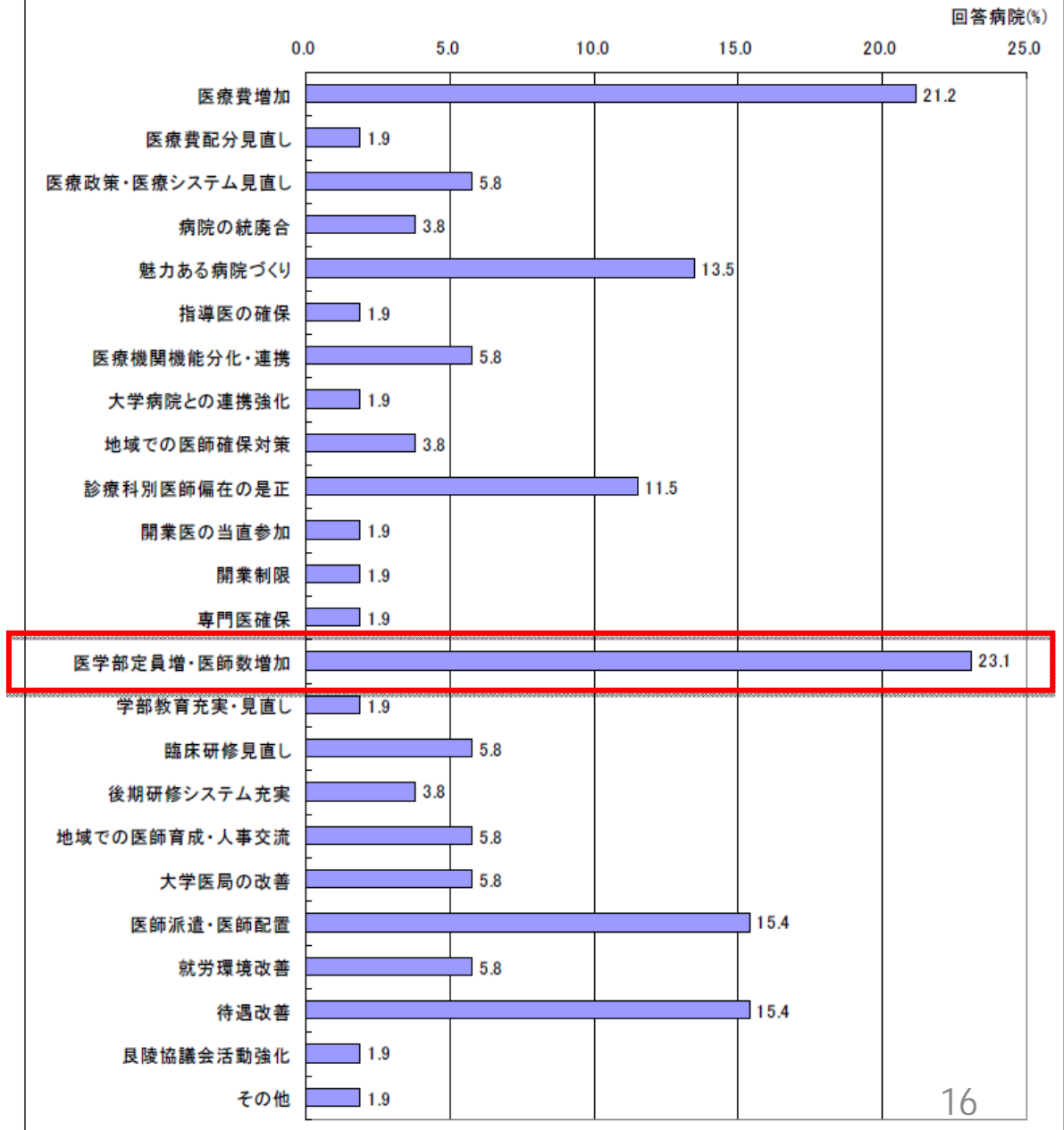


地域医療の充足に関する 調査結果(報告)

良陵協議会 金村政輝
平成21年8月



医師充足のために必要なこと(n=52)





宮城県地域医療セミナー

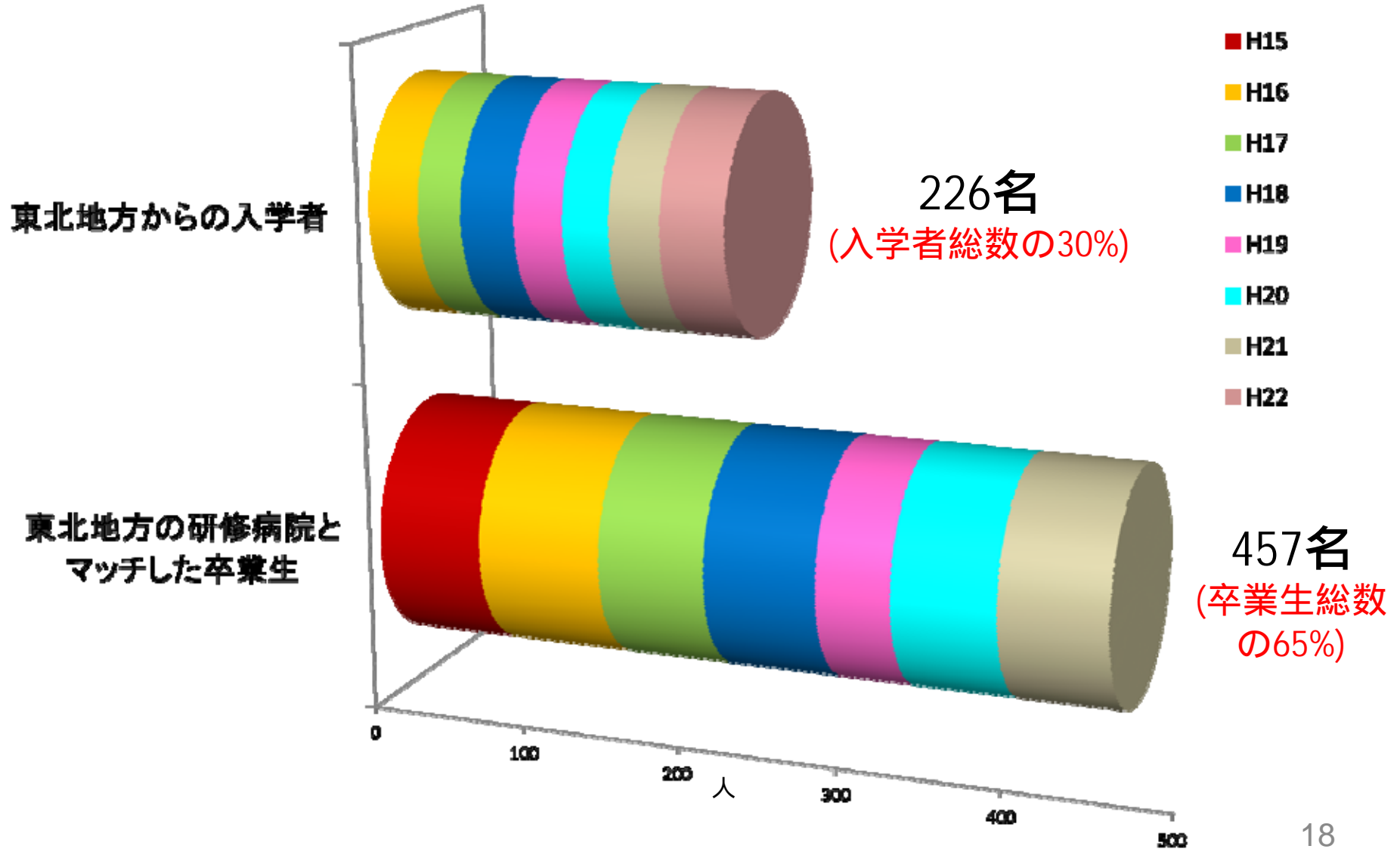
2011年1月13日

- 東北大学医学部挨拶
- 村井宮城県知事メッセージ
- 奨学金説明
- 修学資金医師トーク
- 質疑応答





過去7年間の東北6県からの東北大学医学部入学者と 東北6県で初期研修を行った卒業生の人数





研修医マッチング制度

問題点

募集定員の過多 都市部に研修医が流出

研修医数 7,998 名に対し、募集定員 10,692 名

平成 22 年の宮城県研修医マッチング実績

募集定員数 152 名 マッチング数 110 名 充足率 72.4%

都市部(東京、大阪、京都など)の対定員充足率平均 88.3%



若手医師にとっての都市部の医療の魅力
震災風評

20 名分の差

これまでの対策

地域医療教育(地域医療実習の充実)

県の地域医療振興の修学資金(年間 10 名採用)

今後の取り組み(予定)

医学部定員増

災害医療拠点の設置

20 名増



Educational Commission for Foreign Medical Graduates (ECFMG) が提起した医学部の認証問題

2023年より

ECFMGはUSMLE (United States Medical Licensing Examination) の受験者を国際的に認証された医学部・医科大学の卒業生・在学生に限定する (2010年9月 記者発表)

目的と背景

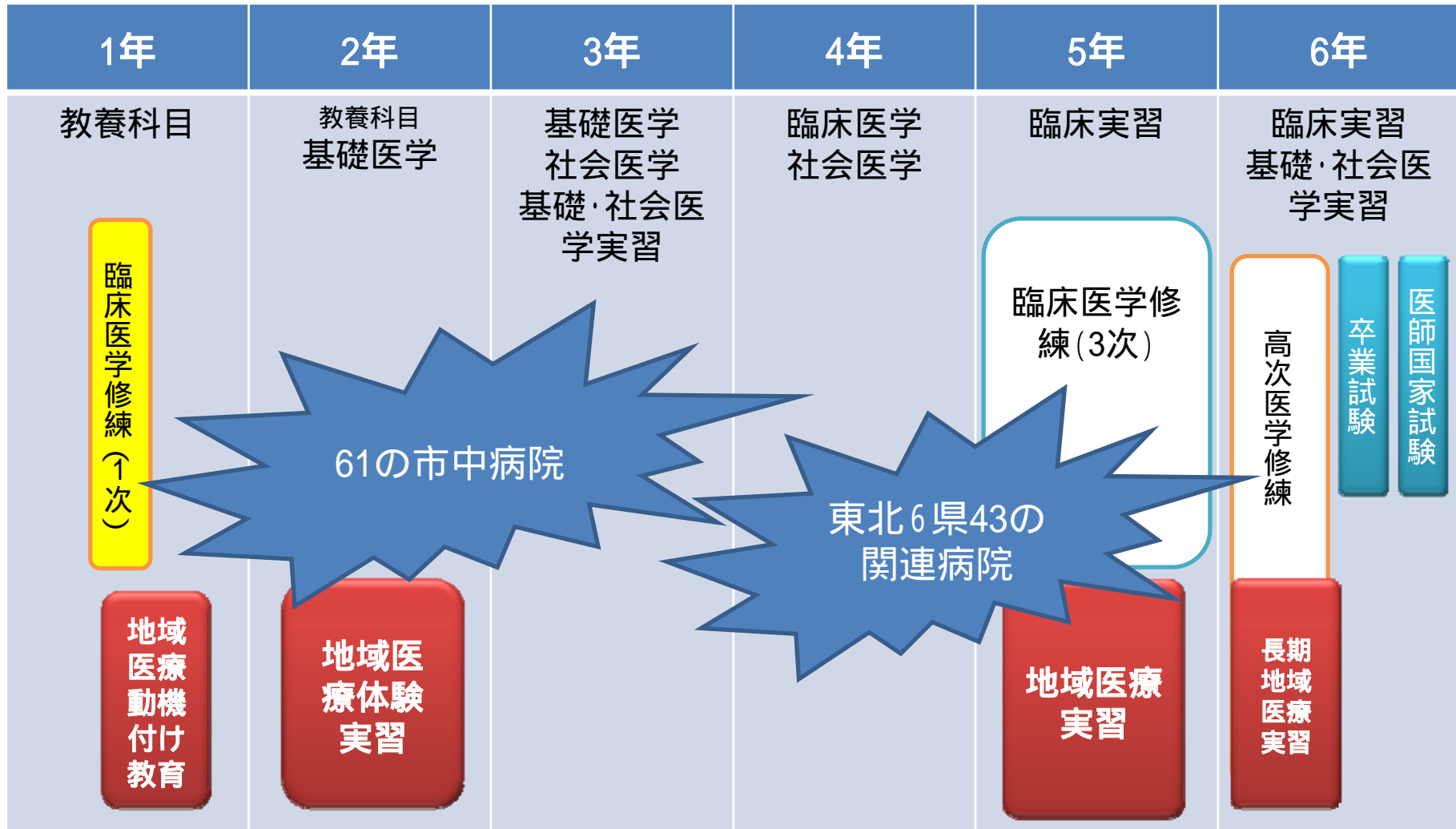
- 米国で働く外国人医師の質の担保
(米国で働く医師の1/4が外国人医師)
- アジア・中東地域で激増する新設医科大学


我が国の課題


- 日本には、ECFMG基準により認証された医学部は皆無
- 国際的認証手続きの策定
- 米国標準に準拠したカリキュラム (特に臨床修練) の構築



東北大学医学部 医学科カリキュラム



 地域医療基幹科目

 地域医療関連科目



災害に関する教育 震災特別講義

全学年を対象に震災特別講義を実施した

4月25日(月)3 - 4 年次

石巻赤十字病院院長
杜の都産業保健会理事
医学部長

飯沼一字 先生
山田章吾 先生
山本雅之



4月25日(月)2 年次

杜の都産業保健会理事

山田章吾 先生(名誉教授)



4月25日(月)5・6 年次

杜の都産業保健会理事

山田章吾 先生(DVD)

5月 6日(金)1 年次

東北大学病院放射線部

神宮啓一 先生





災害に関する教育 トリアージ訓練

平成19年度より「臨床医学修練(2次)」において
4年次学生が実習の一環として大学病院のトリアージ訓練に参加している





まとめ

東北地方には以前より医師不足・医療過疎地域が多く存在したが、東日本大震災によりそれが加速している

東北大学医学部では、従来から手厚い地域医療教育を実施してきており、また、3年前から計20名の医学科定員の増員を行ってきた

同時に医学系修士課程の充実に注力し、医療系高度専門職業人の養成を通して医療の高度化と医師の働きやすい環境作りの推進に取り組んでいる

東日本大震災による医師流失・不足に対応する目的で、10年間の時限付きで本医学科定員の20名増(計140名)を提案する

諸外国の医学部定員は150名から200名のものが多い。医学教育と研究の高度化・効率化からの面からも、我が国は医学部定員を増やすとともに、その基盤強化を進めるべきである

有事の際には、医学部定員を臨時に増加させて医師供給増の要請に対応することが合理的である。即効性にすぐれ、また、減少フェーズに対応し易い。東北大学医学部の歴史を見ても、179名や139名のクラスが存在しており、私たちには種々の要因による在学生の増減に耐えながら医学教育を実施してきた経験がある

我が国は、今後ECFMGなどから要求される国際基準に答えるためにも、既設医学部の教育・研究基盤の重点的な強化に取り組むべきであり、一方、医学部側は定員増など社会からの要請に全力で答える必要がある